

平成 29 年 5 月 25 日

各 位

会社名 株式会社 MCJ
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 高島 勇二
(東証第二部 コード番号:6670)
問合せ先 経営企画室
(電話番号 03-6739-3991)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め企業価値の向上を図ることを目的として、当社取締役会全体の実効性に関する評価を行いましたので、その結果の概要について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

すべての取締役・監査役に対して、取締役会の実効性に関する評価の趣旨等を説明のうえ、質問票を配布し、全員からの回答により得られた結果に基づき、社外取締役及び社外監査役で構成される「諮問委員会」にて分析・評価を実施いたしました。

質問票の内容（大項目）

- ・ 取締役会の構成
- ・ 取締役会の運営
- ・ 取締役会の実効性
- ・ 取締役会を支える体制
- ・ 株主を含めたステークホルダーとの関係

2. 評価結果の概要

当社取締役会は、取締役会の構成、取締役会の運営状況、社外役員を含む取締役会の十分な支援体制、株主を含めたステークホルダーとの関係等について確認した結果、現状における取締役会の実効性は十分に確保されていることを確認いたしました。

一方、当社取締役会の実効性をさらに高めるために取り組むべき課題として、諮問委員会より以下の提言を得ました。

- 取締役会の構成については、多様性の拡充に進捗が見られたことから、今後においては企業経営経験者を招聘するなど、更なる多様性の拡充を求めたい。
- 取締役会における議論においては、活発かつ有効な議論がされているものと評するところだが、社外役員の一部においては、在任期間が長期に及んでいることから独立性確保の観点をもって社外役員の構成について検討を図りたい。
- 取締役社長を含めた経営陣と社外役員の間において、取締役会に抛らず意見交換する機会等の一層の提供に努められたい。
- 後継者の育成並びに多様性の拡充を企図した新任役員の増加が見込まれることから、当社グループに関する早期理解または知識深耕に資するような体系だった仕組みの構築を検討されたい。

3. 今後の対応

当社取締役会は、以上の提言・評価結果等を踏まえ、より実効性の高い取締役会の実現に向けた改善を、不断の努力を以って推し進めてまいります。

以上